

ネイチャー・ウォーク

令和3年12月
2021.12.19 発行
(通巻第336号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■11月のネイチャー・ウォーク

世の不思議 武蔵の国にも 嵐山

(東武鉄道武蔵嵐山駅～同駅)

雲一つない快晴と冷たい北風、という冬らしいお天気の中で今月もネイチャー・ウォークを開催しました。今回は26名が、武蔵嵐山駅から都幾川まで歩きました。



菅谷城跡で記念撮影。





このご時世、久しぶりの再会も珍しくありません。前半ののどかな田舎道は、「今年初めてよね！あけましておめでとう（笑）今年こんなことがあって、あんなこともあって・・・」と無事を喜びながら歩きました。

都幾川の河川敷にでると、ドンッと視界が広がります。空気がすんでいて、山の稜線がくっきりと見えて気持ちがいい！

橋を渡り、桜堤と呼ばれる、桜並木の堤防の上を歩きます。春はすごい人なんだとか。



今回のメインは冬鳥観察を期待していた人が多いようです。さっそく冬鳥を探しますが、風が強いせいか声はすれども中々小鳥が姿を見せてくれません。

それでも水辺を泳ぐオオバンの小さな群れ、上空を風にあおられながら優雅に飛ぶダイサギ、アオサギを観察。また、川原の上ではセグロセキレイとイカルチドリ追いかけっこ、藪の中からホオジロも顔を見せてくれました。





都幾川（写真左奥）と槻川（右側）の合流部付近で、橋を渡ります。本当に広い空。槻川の上流には紅葉の名所である嵐山溪谷があり、遠目にバーベキュー場がにぎわっている様子も見えました。

橋を渡ると、鎌倉時代の有力御家人とされた畠山重忠のお城だった菅谷館跡。ここは昭和48年に国指定史跡に指定されています。縄文・弥生時代から鎌倉・室町・戦国時代まで、各時代の遺跡群が無数に点在しており、まだ明らかにされていない遺跡も眠ったままになっているのだとか。さまざまな歴史が刻まれた館跡は、今はカウ類の音が響く静かな森になっています。



菅谷城の中のあずまやの前で、Walk（多く）出現認定証の授与。今日はお二人の認定がありました。おめでとうございます。そして今後ともネイチャー・ウォークをよろしくお願いいたします！
今回も午前中いっぱい短めのコースでしたが、参加者の中には、嵐山溪谷まで足を延ばされた方もいらっしゃったようです。

来年のネイチャー・ウォークも、どうぞよろしくお願いいたします。
お誘いあわせの上、ご参加ください。